

第 15 回かごしまジュニア検定 模範解答

問 1. ②

【解説】与那国島周辺から東シナ海へ流れる黒潮（テキスト P6）。黒潮の影響でサンゴが生息し、大隅半島は冬でも暖かいといわれています。

問 2. ③

【解説】製鉄・造船・紡績・電信・ガラスなど多くの分野の事業が行われた集成館（テキスト P8）。当時日本で最も進んだ技術を持ち、明治維新に大きな影響を与えました。

問 3. ①

【解説】屋久島は 1993 年に日本初の世界自然遺産に認定されました（テキスト P3）。2021 年には奄美大島と徳之島が沖縄県の一部とともに世界自然遺産に認定されています。

問 4. ①

【解説】鹿児島県の人口は約 160 万人（テキスト P2）。

問 5. ③

【解説】枕崎はカツオの水揚げが全国 2 位（テキスト P6）。鰹節の生産は指宿の山川地区と合わせて全国の約 7 割を生産しています。

問 6. ①

【解説】出水平野には、ナベヅルやマナヅルなど一万羽ものツルが渡来します（テキスト P6）。2021 年に、県内 3 つ目となるラムサール条約に登録されました。

問 7. ②

【解説】黒砂糖は奄美大島や種子島が主な生産地であるサトウキビを原料に造られています。（テキスト P13）。

問 8. ②

【解説】薩摩藩は岐阜県などを流れる木曾・長良・揖斐川の治水工事を行いました。このことがきっかけで、岐阜県と姉妹県になっています（テキスト P7）。治水工事で犠牲となった薩摩藩士を弔う薩摩義士碑が、城山町黎明館の近くにあります。

問 9. ②

【解説】県の鳥ルリカケス（テキスト P5）。奄美大島、加計呂麻島等に生息しており、るり色の美しい羽毛が特徴です。

問 10. ③

【解説】西郷隆盛と政府軍が衝突した内戦は、西南戦争です（テキスト P9）。城山町にある私学校跡の石垣には、西南戦争の時の銃弾の跡が数多く残っています。

問 11. ②

【解説】源泉数は2,755か所で全国2位(テキストP10)。湧出量は全国3位、温泉使用の銭湯数は全国2位。 ※源泉数1位は大分県の4,445か所

問 12. ①

【解説】鹿児島県は竹林面積が日本一(テキストP17)。さつま町宮之城地区は633ha、孟宗竹524haの竹のまちです。

問 13. ②

【解説】かるかんは自然薯を使ってふんわりとした食感があるのが特徴(テキストP13)。江戸時代の末に、明石の職人によって殿様に献上するお菓子として改良考案されたとされています。

問 14. ②

【解説】「片耳の大シカ」「マヤの一生」などが代表作(テキストP11)。戦後は、県立図書館長を務め、「母と子の20分間読書運動」を提唱しました。

問 15. ①

【解説】島津久光の行列が生麦村にさしかかったとき、馬に乗ったままであったイギリス人一行に「無礼を働いた」として、薩摩藩士が切りかかった事件。賠償金の支払いを拒否した薩摩藩に対し、イギリスが艦隊を引き連れて薩英戦争が始まった(テキストP9)。

問 16. ③

【解説】妙円寺参りは、日置市にある義弘の菩提寺である妙円寺に歩いて参拝する(テキストP18)。江戸時代から続く鹿児島三大行事の一つです。

問 17. ①

【解説】稲盛和夫氏は、1984年に人類社会の進歩発展に功績のある人々を表彰する国際賞「京都賞」を設立しました。また、1959年に京都セラミック株式会社を設立しています(テキストP14)。

問 18. ③

【解説】肥薩おれんじ鉄道は鹿児島県の川内駅から熊本駅の28駅を結んでいる。(テキストP16)。九州新幹線の開業と同時に第3セクターの運営となりました。

問 19. ③

【解説】「おぎおんさあ」は神輿や山車などのご神幸行列が鹿児島市の中心街を練り歩く伝統的なお祭りです(テキストP18)。おぎおんさあとは「祇園様」のことで、八坂神社をさします。

問 20. ②

【解説】ブリ・カンパチが「かごしまのさかな」としてブランド認定されています。(テキストP15)。その他マグロ・ウナギの養殖も盛んです。